

魚津駅・電鉄魚津駅周辺合同ワークショップを開催しました

令和5年10月17日（火）、魚津市役所4階 第1委員会室で11名の方々にご参加いただき、合同ワークショップを開催しました。

合同ワークショップでは、前回ワークショップで意見交換を行った「柿の木割（線路沿い）の照明灯」、「旧観光案内所跡地駐輪場」のデザイン検討に引き続き、参加メンバーの皆さんが3班に分かれ、魚津駅東広場の配置計画やデザインについて協議しました。



■ 駅前広場整備の方向性

協議に先立ち、整備の方向性等が説明されました

方向性①：魚津らしい整備（デザイン）

⇒住み続けたくなり、特徴ある景観を反映した駅前広場の実現

方向性②：活気と楽しさを感じられる整備（デザイン）

⇒中心市街地と連携した賑わいのある駅前広場の実現

方向性③：わかりやすくユニバーサルな整備（デザイン）

⇒世代を超えてひとが集まる歩行者に優しい駅前広場の実現

【あるべきまちの姿】

各世代が住みたい
住み続けたくなるまち

賑わいのある
魅力的な
中心市街地

交通機能が充実した
人が集まる
歩行者に優しいまち

あるべきまちの姿、
景観的特徴から…

【景観的特徴】



■ 整備コンセプト

整備の方向性に、居心地の良さ、新しい魅力を組み合わせた整備コンセプトが示されました

整備の方向性

居心地の良さ

新しい魅力

“人をつなぐ、まちをつなぐ、時をつなぐ駅前空間の創出”

■ 駅前広場の整備方針

整備方針①：公共交通（バス・タクシー）

利用の安全性、利便性向上

整備方針②：一般車乗降利用の安全性、

利便性向上

整備方針③：賑わい広場 空間の創出

方向性やコンセプトを踏まえた駅前広場の整備方針に基づき、3案が提案

■ 整備計画案

【PLAN-A】公共交通、一般車乗降利用を重視

【PLAN-B】賑わい空間の創出を重視
(広場空間が中央)

【PLAN-C】賑わい空間の創出を重視
(広場空間が柿の木割側)

3案をもとに
参加者で
協議した結果…

ワークショップで頂いたご意見等を踏まえ、魚津駅東広場及びその周辺の整備を進めていきます。

主な意見内容

分類	主な意見内容
車両の動線	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般車両を可能な限り排除 ● シンプルな動線
一般の駐車場、乗降スペース	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車的时间制限を設定 ● 送迎車専用の動線を確保
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● タクシーよりも一般車の乗降を優先に
広場空間	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の機能を優先に ● 広場は柿の木割側に ● イベントを想定した広場に
デザイン、設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的に立ち寄れるようなデザイン ● 観光客を意識したシンボリックなデザイン ● バリアフリーへの配慮 ● 歩行者の動線にシェルターを設置

